

ごあいさつ

日頃より皆様には、公益財団法人あきた企業活性化センターの活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、コロナ禍を経て、県内の経済は全体として緩やかな回復傾向にあり、個人消費や生産活動にも持ち直しの動きがみられてきたところではありますが、不安定な国際情勢やアメリカの通商政策の転換などを背景に、社会経済の先行きに不透明感が強まっているほか、物価高騰や深刻な人材不足など、県内中小企業には、依然として厳しい経営環境が続くものと見込まれております。

こうした中、当センターでは、経営基盤の強化や経営改革にチャレンジする県内企業を強力にサポートするため、総合相談体制を更に拡充・強化するとともに、生産性の向上や販路開拓、設備投資のほか、商品開発や知財の活用促進など、多様な支援策や専門的なアドバイスを、引き続き、ワンストップで提供してまいります。

また、今年度は、地域経済の新たな担い手として期待されるスタートアップへの支援や、DX（デジタル技術を活用した経営革新）の促進、急速に変革・進展する輸送機産業等において、社会経済の変化に即応し、新規・拡充事業にも取り組んでまいります。

今後も、企業の様々なニーズを汲み取り、総合的な経営支援を通じて、県内企業の発展と地域経済の活性化、産業の振興に、より一層貢献してまいりたいと考えておりますので、これまで同様、御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和7年4月

公益財団法人あきた企業活性化センター
理事長 佐藤 徹